

VOL.

10

with LIFE

2024年10月から 「OBD車検」が 本格的にスタート!

OBD車検によって車検制度がどのように変わるのか?

ご承知のとおり、OBD車検とは「On Board Diagnostics(車載式故障診断装置)」という特殊なツールを使用する新しい自動車検査手法です。従来の車検では電子制御装置をはじめとするコンピュータを活用した制御装置の確認が検査項目になかったため、異常や故障が起きていても車検に通ってしまうという可能性もありました。自動車業界に次々登場する新しい電子制御システムに対し、これまでの車検制度は追いつけていなかったのです。ともすると、誤動作が発生して危険なこと故につながりかねないことから、車検の項目にOBD車検(検査)を導入して適切な整備につなげるのが狙いです。

いま自動車は電子制御システムがスタンダードとなり、この電子制御化を突き進んだ結果SDV(ソフトウェア定義型自動車)という概念が活発化しています。トヨタもこのSDV化をにらみ、重要性が増す点検や修理を確実にこなすために一般の整備工場を直接認定する制度を9月から始めることを発表しました。販社が整備工場を直接、認定する制度は初めてのことです。SDV化が進めば、ますます車検の在り方は大きく変わっていくかも知れません。

さて、実はこのOBD車検は、国産車なら2021年9月30日以前、輸入車なら2022年9月30日以前に発売された新型車であれば、このOBD検査(OBD車検)の対象にならないの

ですが、だからと言って対象外の車のオーナーは何もしなくていいということではありません。むしろ自分の命を守るために運転支援システムや電子制御システムなどのメンテナンスを自発的に行うことが大切だと思います。10年ほど前から急速に普及したADSD(先進運転支援システム)の進化に伴い、センサーの不具合を原因とした事故も発生するようになってきました。このOBD車検の開始を機に、自分の車に搭載されているシステム系が正常に機能しているか日常的に意識するよう心がけたいところです。

OBD車検資料

QRコードから
ダウンロードできます



(国土交通省・自動車技術総合機構・軽自動車協会)

車の下回りのサビ、放置するとどうなる？

サビ発生の原因、影響、その対策

その放置、 愛車やユーザーに大打撃

車の下回りはボディ以上に汚れがつきやすく、サビが発生しやすいため、より注意が必要な場所です。サビの腐食を放置すると、**パーツ破損や故障、走行中のトラブル**による交通事故にも繋がります。

また、**車検時の検査が通らない、買取の査定額が下がる**など、車を使用する以外でのマイナスポイントにも繋がります。

サビの主な原因



雨水、路面の水たまりや泥



寒冷地、積雪がある地域で使われる融雪剤



海辺のドライブ、海水の塩分が含まれる潮風



サビ予防・対策

1 こまめな洗車、下回り洗浄

セルフ洗車では難しい下回りの汚れを落とし切るには、自動洗車機、下回り専用の洗車場を利用。

2 防錆剤(アンダーコート)塗布 **オススメ**

下回りのサビ対策としては最も堅実で効果的。サビが発生している車両の腐食進行の抑制もできる。



サビを知り、サビに勝つ！

サビは発生後の除去、特に酷くなった状態からの回復には費用もかさみ、自分での処理は難しくなるので、普段からの予防や対策がどれだけでできているかが重要となります。

愛車に長く乗り続けるためにも、表面のボディだけではなく、見えない下回り部分にもケアを行いましょう。



イチ押し
メンテナンス

ATTENTION!

目には見えない強固な膜が、厄介なサビや汚れからアンダーボディを確実に守る。



ボディ・アンダークリアコート

施工イメージ



Before



After

サビ防止、既にサビが発生している車両にも効果発揮

車の下回りに付着した融雪剤・海水や泥の中のカルシウム、ナトリウム、ケイ素等とボディ・アンダークリアコートが置換反応し、金属表面に密着度の高い強固な防錆皮膜を形成し、サビを防ぎます。

POINT

- ✓ ホイールハウスを含む床下全面を完全防錆。(ブレーキローター回りも施工可能)
- ✓ 柔軟性のある非乾燥膜を形成、サビの進行を抑える。
- ✓ ゴムや樹脂への悪影響はなし。
- ✓ クリアな仕上がりで、コーティング後も足回り、アルミ部品は綺麗なまま。

持続効果

1年*

※塩分濃度・湿度・走行距離による